

(仮称) 道の駅「硯上の里 おがつ」整備設置基本計画 (案)

設置者及び管理運営 宮城県石巻市

(担当：雄勝総合支所地域振興課)

1 コンセプト 日本一美しい漁村 海風薫る 道の駅「硯上の里 おがつ」



2 設置目的

東日本大震災において、大きな被害を受けた「石巻市雄勝地区」の中心拠点施設として、「持続可能なまち、魅力あるまちの創出」を目的として5つのコンセプトを基本とした施設を道の駅として活用します。

① 住民が誇れるまちづくり、訪れた人々が住みたくなるまちづくり

- ・雄勝地区は、リアス海岸の観光ルート上に位置します。雄勝地区の玄関口となる中心部地区周辺の、美しい海や里山の豊かな景観をアピールします。
- ・雄勝地区の魅力や伝統文化などの良さを伝えるために、情報発信や地域振興を図り、観光交流や、ドライバー等の休憩施設として活用します。

- ② 「雄勝湾と美しい海と里山」を活かした漁業・水産業と観光の共生
 - ・雄勝地区ならではの海の幸・山の幸を提供し、交流人口の拡大を図ります。
 - ・地元ニーズに応えながら、観光客を意識した観光物産交流施設を整備し、漁業・水産業と観光の共生を図ります。
- ③ 伝統ある雄勝石産業の復活と再生、伝統芸能の伝承
 - ・国の伝統的工芸品である「雄勝硯」の振興、情報発信の場として、雄勝硯伝統産業会館を活用します。
 - ・雄勝中心部地区全体を一体的に活用します。
 - ・雄勝石をエリア全体でアピールできるように、いずれの施設でもスレートを採用します。屋根や腰壁などの大きいものから、表札などの小さいものまで、さまざまな可能性を探求します。
 - ・多目的広場については、法印神楽などの伝統芸能を発表する場としての整備を検討します。
- ④ 雄勝地区へのUターン・Iターンの促進
 - ・各施設がハード・ソフト両面で連携することで、「学ぶ・食べる・遊ぶ」というにぎわいの中心を創出し、にぎわいが持続することで、新たな雇用が生まれ、Uターン・Iターンを促進します。
 - ・雄勝中心部地区と周辺施設（雄勝森林公園や学校など）の連携を推進します。
 - ・体育館や艇庫、雄勝湾を利用した研修等により、将来の雄勝を担う若い人材を育てます。
- ⑤ 雄勝地域の総合案内
 - ・硯伝統産業会館に、シアター・交流スペース・資料室・企画展示ホール等を整備します。雄勝の浜をつなぐ循環環境共生、法印神楽などの伝統芸能、漁師や浜の暮らし等を紹介します。
 - ・雄勝地域の発展のために、観光による来訪者の獲得だけでなく、リピーターの獲得、さらには住民獲得も視野に入れて、来訪時に、できる限り雄勝地区を知り、満喫してもらうことができるような施策を行います。

3 施設の整備方針

雄勝地区の玄関口として、雄勝地区や周辺地区の魅力、地域の耳よりな情報などを提供するインフォメーション機能を整備します。また、震災伝承機能も備えます。

- ① きめ細かな情報発信の場 ～地域住民・観光客の多様なニーズに対応～
 - ・タウンセールスの場とするために、案内カウンターを設けて、案内人を配置。
 - ・観光マップなど、地図情報を提供。
 - ・大型モニターでの情報提供。
 - ・各種コンテンツを活用した地区の観光情報・物産情報・釣り情報等を発信。
 - ・無線通信環境の整備。
 - ・QRコード・ホームページ等を活用したペーパーレスな情報提供。

- ② 個人・団体の情報交流の場 ～歴史・文化・観光の情報を受信・発信～
 - ・個人・団体が自由に情報発信できるコーナーの設置。
 - 観光客とも交流。
 - ・学校やサークルの作品を展示するために企画展示ホールを活用。
 - 石巻市内を中心とした地域住民の来訪を図る。
 - 例) 児童・生徒の絵画展→親・祖父母の来訪→家族で買い物やお食事。
 - ・各グループが情報を持ち寄る場として研修室を活用。
 - ・雄勝の歴史・文化・観光情報をシアターで提供。
 - ・地域住民と観光客が気軽に利用できる場の提供。
 - ・シアター・ホール・研修室を一体利用したイベントの開催。
- ③ 近隣市町村と連携した広域観光拠点 ～リアス観光ルート～
 - ・三陸沿岸の広域的な観光情報の提供。
 - ・近隣の体験交流施設等の予約サービスの実施を検討。
- ④ 東日本大震災の伝承空間
 - ・東日本大震災の被害や対策・取り組み、復興事業などを閲覧できる資料室や企画展示の開催。
 - ・東日本大震災の状況を学べる機会の提供。
 - ・震災伝承の語り部については、今後検討。

4 「道の駅」の必要性

石巻市雄勝町は、リアス式海岸特有の入り組んだ入り江で、海と山に囲まれた豊かな自然環境に加え、多種多様な魚介類の水揚げがある多くの漁港を有しています。東日本大震災により、壊滅的な被害を受け、人口も大幅に減少しましたが、関係者がまちの活性化、特に新たに建設した観光物産交流施設を中心とした拠点エリアでの賑わいを取り戻そうと、日々活動している状況です。

当該エリアは、国道398号から雄勝地区の中心部に入ったところに位置しており、宮城県内のリアス式海岸地域をめぐる観光ルートの中でも、リアス式海岸特有の地形を感じることができる施設のひとつであり、多くの方が立ち寄っています。さらに、併設する「雄勝硯伝統産業会館」では、国の伝統的工芸品である「雄勝硯」に触れ、購入もできる施設となっており、一体的な観光情報発信により、多くの来場者を見込んでいます。

今回、観光物産交流施設及び雄勝硯伝統産業会館を道の駅として登録することにより、24時間利用可能なトイレ・休憩所として広く周知することができます。石巻市内周遊の観光ルートに限らず、自家用自動車で石巻市～女川町～雄勝～南三陸町～気仙沼市といった県内沿岸部の観光をするドライバーの休憩所として皆様に立ち寄っていただくことはもちろん、雄勝地区の玄関口として地域の魅力をアピールするためにも道の駅が必要です。

○参考までに雄勝観光物産交流施設から三陸沿岸の各観光施設等までの距離は以下のとおりです。

石巻地区	J R 石巻駅まで	28.3km	約 40 分
河北地区	道の駅「上品の郷」まで	20.3km	約 25 分
北上地区	北上観光物産交流センターまで	12.2km	約 20 分
牡鹿地区	ホエールランド他まで	47.5km	約 1 時間 10 分
女川町	シーパルピアまで	20.9km	約 30 分
南三陸町	さんさん商店街まで	36.9km	約 45 分

5 上位・関連計画

(1) 石巻市震災復興計画 平成 23 年度～平成 32 年度（平成 30 年 12 月）

基本構想 最大の被災地から世界の復興モデル都市石巻を目指して

施策大綱 1. みんなで築く災害に強いまちづくり

(防災・地域コミュニティ・減災都市基盤)

2. 市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す

(暮らし・健康・福祉・医療福祉)

3. 自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる（産業経済・まちなか再生）

大区分 4 地域資源を活かす

・観光業・施設の再生復興（観光施設の復旧・復興）

4. 未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる。

(教育・子育て・産業創出)

(2) 石巻市過疎地域自立促進計画 平成 28 年度～平成 32 年度（平成 28 年 3 月）

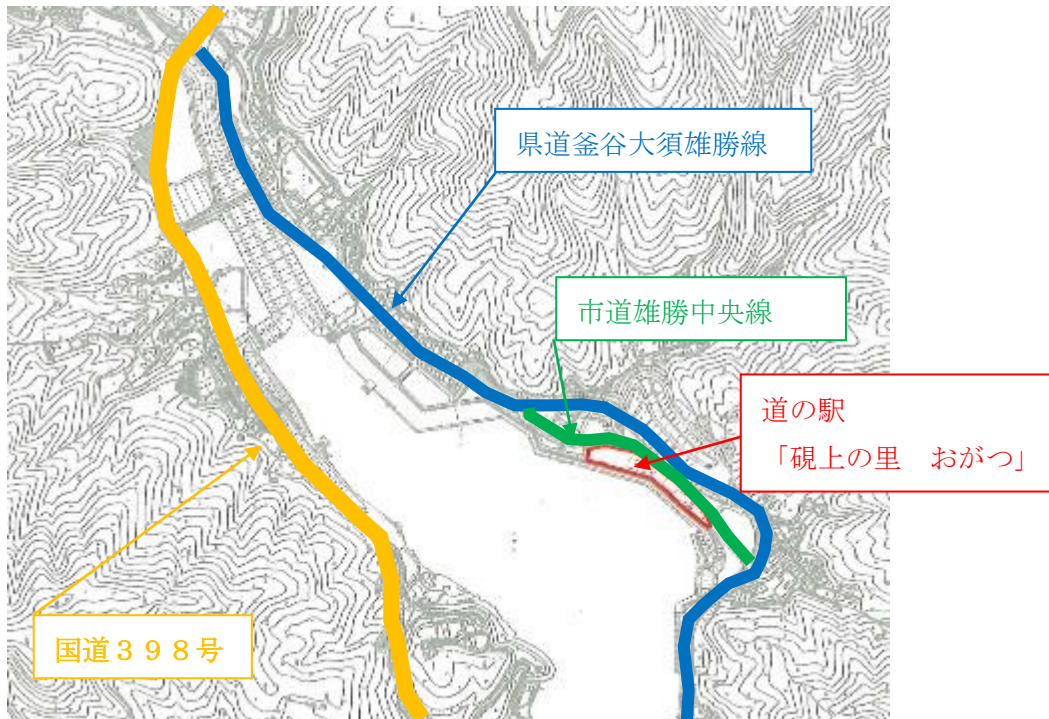
将来像 わたしたちが作り出す 笑顔と自然あふれる 元気なまち

地域別将来展望（抜粋）

■雄勝地域の施策展開の方向

雄勝総合支所、雄勝公民館、雄勝硯伝統産業会館、観光物産交流施設等を雄勝中心部地区に集約して整備し、雄勝地域の生活及び観光等の拠点を形成していきます。

6 道の駅位地及びエリア



7 施設概要・機能

施設名称	休憩機能	情報発信	地域連携	施設紹介	機能概要
雄勝観光物産交流館 敷地面積 延床面積	○	○	○	テナント形式の飲食店や小売店等の店舗と雄勝地区の魚介類を中心とした特産物が購入できる施設 被災状況等も展示	トイレ (24 時間) 授乳室 (24 時間) 情報発信 (24 時間) 公衆電話 (24 時間) 商業施設 交流施設・A T M
雄勝硯伝統産業会館 敷地面積 延床面積	○		○	雄勝硯を中心とした博物館類似施設 地域情報なども提供	トイレ (24 時間) ベビーコーナー (24 時間) (休館日 週 1 回 有)

周辺施設

雄勝総合支所庁舎 (R3.3 完成予定) 河北警察署雄勝駐在所 河北消防署雄勝出張所
雄勝郵便局 (総合支所内) 宮城県漁協雄勝湾支所

8 駐車場・トイレ・授乳室の状況

(1) 駐車場

施設名	一般	障がい者	大型	計	備考
雄勝観光物産交流館	29 台	2 台		31 台	
雄勝硯伝統産業会館	22 台	2 台	5 台	29 台	
計	51 台	4 台	5 台	60 台	

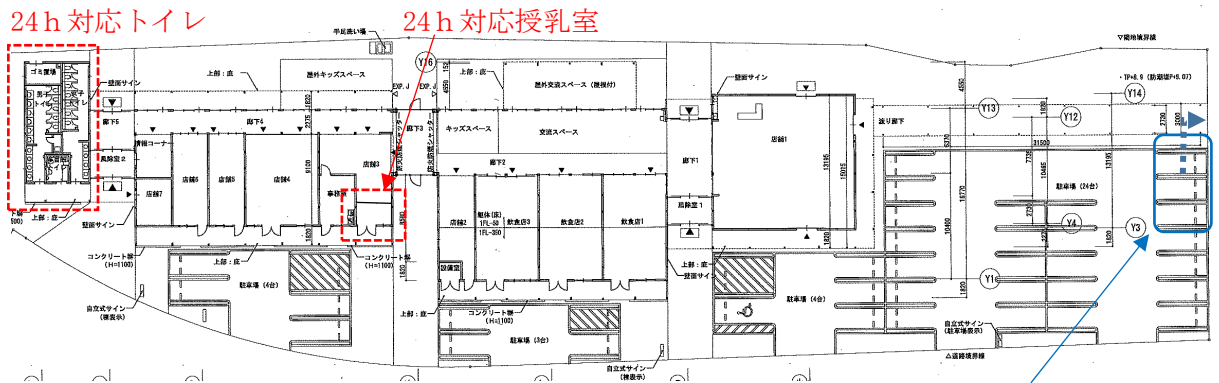
(2)

施設名	男小		男大		女		多目的		計		備考
	数	うち 24h	数	うち 24h	数	うち 24h	数	うち 24h	数	うち 24h	
雄勝地域観光物産交流館	6	6	5	5	7	7	1	1	19	19	
雄勝硯伝統産業会館	6	3	4	2	6	3	2	1	18	9	
計	12	9	9	7	13	10	3	2	37	28	

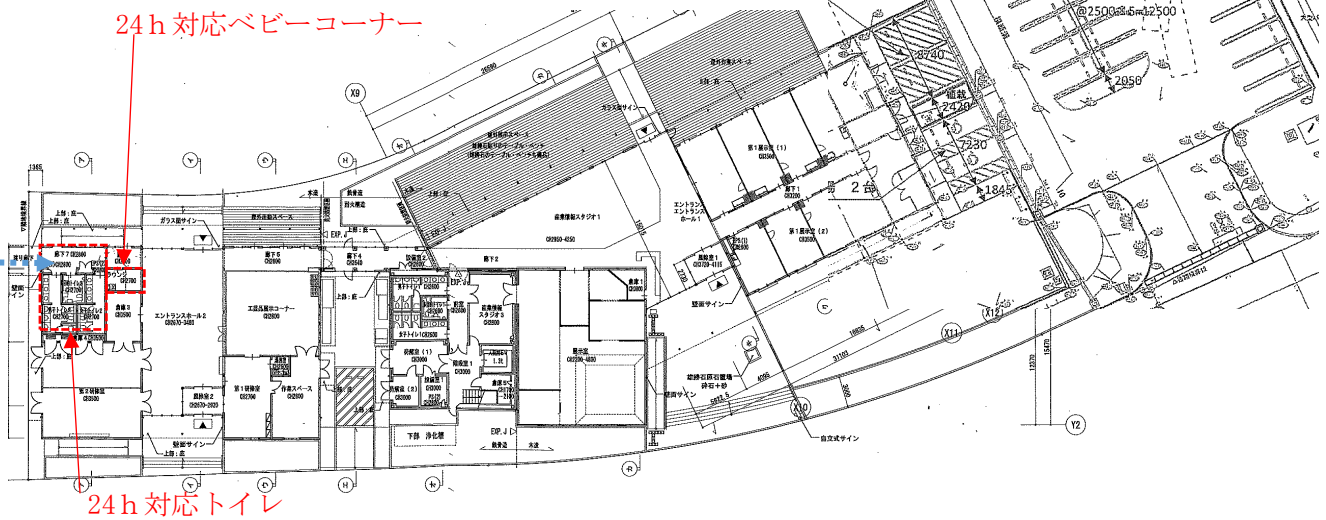
(3) 授乳室及びベビーコーナー

施設名	授乳室	備考
雄勝地域観光物産交流館	1	授乳室
雄勝硯伝統産業会館	1	ベビーコーナー
計	2	

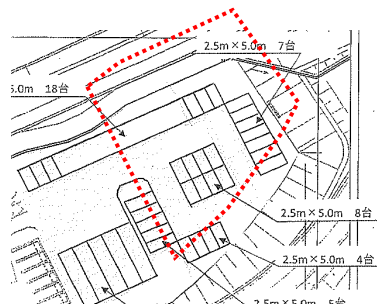
9 施設の概要及び改修予定
雄勝地域観光物産交流館



雄勝硯伝統産業会館



大型駐車場



テナント等従業員駐車場 3 5 台

10 管理運営

(1) 管理運営概要

宮城県石巻市では、持続可能な地域経営の実現を図るため、民間と連携しつつ事業推進を図っており、当該道の駅についても、道路利用者の利便性の向上や施設の利用促進を図り、安全で快適な環境の形成と地域振興を図り、施設の安定した経営を維持するため、民間事業者による指定管理者制度導入を検討しておりますが、施設が開所する令和2年度は市による直営での運営とし、令和3年度から地元で活動する民間企業や社団法人等連合組織による共同事業体を結成し、その共同事業体の企業力を活用した管理運営に切り替えていく予定です。

(2) 設置者

宮城県石巻市

(3) 管理運営者

令和2年度	宮城県石巻市
令和3年度以降	民間への指定管理

11 今後のスケジュール

年 月		令和2年											令和3年					
		2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4		
管理運営	直営	準備		市直営管理運営														
	指定管理						準備					管理者決定					業務開始	
	道の駅管理協議会設置						設立協議				業務調整						業務開始	
整備改修	見積・積算				方針協議・見積・積算													
	予算計上					補正予算計上			議決									
	改修							施設改修										
調整等	国・県協議	登録に向けた相談・協議・スケジュール調整																
	設置条例							条例協議調整						議決				
	登録申請								登録申請									